

1. 基本情報						
事務事業番号	01823	事務事業名	公有財産取得処分事務	担当部	総務部	
政策名	006	しんらい(信頼される行政経営によるまちづくり)		担当課	財産管理課	
施策名	002	持続可能な財政運営の推進		グループ	財産管理グループ	
基本事業名	003	市有財産の適切な管理と利活用		内線番号	内線 1331	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	02 総務費			単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	01 総務管理費			期間限定複数年度(~)	
目	08 財産管理費		根拠法令・条例等	霧島市公有財産規則等		
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
市が公有財産の取得及び処分を必要とする際必要とされる境界測量や不動産鑑定評価を行う。 また、両副市長・教育長・関係部課長級職員で構成する霧島市公有財産取得処分等委員会を設置し、財産の取得や処分の価格を検討、決定している。なお、会議結果は都度市長へ報告している。						

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア 境界等測量件数	件	6	10	7	10
イ 不動産鑑定件数	件	5	10	7	10
ウ 公有財産取得処分等委員会開催回数	回	9	12	9	12

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)
ア 公有財産(土地)	面積	m ²	36,700,986	36,645,611	36,650,175	36,640,000
イ 公有財産(建物)	面積	m ²	905,043	898,174	905,815	898,174
ウ 取得処分しようとする財産	公有財産取得処分等委員会に諮った案件数	件	39	54	40	50
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (目標)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)
ア 取得処分に要する測量・鑑定等	測量・不動産鑑定等対象実施件数	件	6	10	7	10
イ 取得処分価格の検討	開催回数	回	9	12	9	9
ウ						

(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
施設保有量の見直し・適正化を推進し、公共建築物の維持管理や更新等に係る経費の縮減を図ります。 また、市有地の処分・利活用に関する方針を策定し、未利用財産(普通財産)の売却・有効活用を計画的に進めます。						

3. 前年度の評価表に記載した課題	
令和 2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)	
引き続き、未利用地財産の積極的かつ適正な売却や有効利用を進める。	

4. 事業費の推移		単位	31年度 決算	2年度 当初予算	2年度 決算	3年度 当初予算	4年度 計画
事業費投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	5,870	12,045	3,934	12,045
	事業費	千円	5,870	12,045	3,934	12,045	12,045

5. 令和 2年度の実績及び成果	
(1) 令和 2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
令和2年度 決算額 境界確定・測量業務委託料 2,457,421円 不動産鑑定委託料 1,476,200円 令和 2年度 取得処分等委員会 開催回数及び案件数 開催回数 9回 案件数39件	他課の依頼により、境界確定・測量業務委託や不動産鑑定委託を行ったことで、取得処分予定地の適正な評価を行うことができた。 また、その結果、霧島市公有財産取得処分等委員会においては、取得・処分予定地の価格を適切に決定することができた。

事務事業 番号	01823	事務 事業名	公有財産取得処分事務	担当部	総務部
				担当課	財産管理課

6. 振り返り <SEE (check)>			
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	市有財産の処分や、市が必要とする財産の取得についての事務であることから、市が行うべき事務であるため。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
	維持			レ	
	縮小				
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和3年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	引き続き、未利用地財産の積極的かつ適正な売却や有効利用を積極的に進める。				
(3) 令和4年度の方向性（具体的な取組）	関係課と連携を図り、未利用地財産の適正な売却等に積極的勤める。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
	維持						
	縮小						
	休廃止（統合含む）						
		皆減	縮小	維持	拡大		
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

1. 基本情報									
事務事業番号	01828	事務事業名	公有財産登記事務			担当部	総務部		
政策名	006	しんらい(信頼される行政経営によるまちづくり)				担当課	財産管理課		
施策名	002	持続可能な財政運営の推進				担当課長	田上哲夫		
基本事業名	003	市有財産の適切な管理と利活用				グループ	財産管理グループ		
予算科目	会計 一般会計	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成17年度 ~) 期間限定複数年度(~)						
目	02 総務費	根拠法令・条等	特になし						
	01 総務管理費	関連計画	特になし						
	08 財産管理費								
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価						

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>									
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)									
<ul style="list-style-type: none"> 建設部以外の公有財産について、事業主務課からの依頼を受け、表示登記や所有権移転登記等を行う。 建設部以外で管理している未登記地の現状を把握する。 普通財産の払下げ未登記に係る所有権移転等の処理方法を検討し、払下げ未登記の解消に取り組む。 									
活動指標 (事務事業の活動量)									
	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)			
ア 登記件数	件	5	15	7	15	15			
イ									
ウ									
(2) 事務事業の目的									
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (見込)	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (見込)	令和 4年度 (見込)		
ア 建設部所管以外の登記物件	登記依頼件数	件	5	15	7	15	15		
イ									
ウ									
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度 (実績)	令和 2年度 (目標)	令和 2年度 (実績)	令和 3年度 (目標)	令和 4年度 (目標)		
ア 登記手続き	登記完了件数	件	5	15	7	10	10		
イ									
ウ									
(3) 総合計画との関係									
基本事業の目的、取組方針 (総合計画より)									
施設保有量の見直し・適正化を推進し、公共建築物の維持管理や更新等に係る経費の縮減を図ります。 また、市有地の処分・利活用に関する方針を策定し、未利用財産(普通財産)の売却・有効活用を計画的に進めます。									

3. 前年度の評価表に記載した課題										
令和 2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 引き続き、登記に関する知識の向上を図ることで、登記事務等が円滑に進むように努める。										
4. 事業費の推移										
	単位	31年度 決算	2年度 当初予算	2年度 決算	3年度 当初予算	4年度 計画				
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0				
	一般財源	千円	1,931	2,309	71	1,809	2,309			
	事業費	千円	1,931	2,309	71	1,809	2,309			

5. 令和 2年度の実績及び成果									
(1) 令和 2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>					(2) 令和 2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>				
建設部以外が管理・把握している未登記地 1,296件 建設部が管理・把握している未登記地 395件					各部署が管理している未登記地の調査を行っており、現状把握を行うことができた。 また、事業主務課(建設部以外)からの依頼のあった所有権移転等の登記を行ったことにより、適正な事業推進が図られた。				

事務事業 番号	01828	事務 事業名	公有財産登記事務	担当部	総務部
				担当課	財産管理課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが妥当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		登記は、市が取得する不動産、あるいは所有している不動産であるための不動産登記法に基づく業務であり、市が行うべき業務であるため A

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 3年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	引き続き、登記に関する知識の向上を図ることで、登記事務等が円滑に進むように努める。				
(3) 令和 4年度の方向性（具体的な取組）	今後も引き続き、関係課と連携し、地道に未登記の解消にも努める。				

8. 2次評価結果（担当部長評価）		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
	維 持		
	縮 小		
	休廃止（統合含む）		
		皆 減	縮 小 維 持 拡 大
コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評			

1. 基本情報							
事務事業番号	01836	事務事業名	公共施設マネジメント計画進行管理事業		担当部	総務部	
政策名	006	しんらい(信頼される行政経営によるまちづくり)			担当課	財産管理課	
施策名	002	持続可能な財政運営の推進			グループ	財産活用グループ	
基本事業名	003	市有財産の適切な管理と利活用			内線番号	1334	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ		
	款	02	総務費		単年度繰返(開始年度	平成28年度	~)
	項	01	総務管理費		期間限定複数年度(~)
	目	08	財産管理費	根拠法令・条例等	特になし		
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市公共施設管理計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>							
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)							
<p>将来にわたって健全な財政運営の堅持と適切な公共サービスを提供するため平成27年3月に策定した「霧島市公共施設管理計画」に基づき公共施設マネジメントを推進する。公共建築物については、計画策定から40年後の平成66年度までに現在の保有量を床面積換算で4割まで縮減する目標を掲げており、令和6年度までの第1期実施期間の累計目標22.6%縮減に向けて、民間の類似サービスの有無、国が示す適正規模・適正配置等の基準、地域や民間等のニーズ、不動産としての市場性などを基に総合的に判断を行い、市の関与をなくす候補施設の案を地域へ示し、座談会等を開催しながら合意形成を図る。このほか、長寿命化、財源の確保、維持管理業務の効率化などに取り組む。道路・橋梁、上下水道等の土木インフラについては、維持管理手法や適切な管理水準及びサービス提供のあり方などについて検討、見直しを行う。公共施設マネジメントの推進にあたっては、庁内委員会において総合調整・進捗管理を行い、外部委員会において進捗状況の報告・取組に対する意見聴取などを行う。併せて地域座談会等を開催しながら合意形成を図っていく。</p>							
活動指標 (事務事業の活動量)							
	活動指標	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	
ア	霧島市公共施設マネジメント計画推進本部(庁内委員会)	回	4	4	0	4	
イ	霧島市公共施設マネジメント計画推進委員会(外部委員会)	回	2	2	0	2	
ウ	地域座談会	回	15	12	0	12	
(2) 事務事業の目的							
対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(見込)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	
ア	公共建築物	延床面積	76.20	74.70	76	75.90	
イ							
ウ							
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	平成31年度(実績)	令和2年度(目標)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)	
ア	保有量適正化による施設総量の削減、将来更新費用額の縮減	延床面積換算での計画進捗率	%	13.10	100	12.20	100
イ							
ウ							
(3) 総合計画との関係							
<p>基本事業の目的、取組方針(総合計画より) 施設保有量の見直し・適正化を推進し、公共建築物の維持管理や更新等に係る経費の縮減を図ります。 また、市有地の処分・利活用に関する方針を策定し、未利用財産(普通財産)の売却・有効活用を計画的に進めます。</p>							

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
<p>令和2年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)</p> <p>平成27年3月の計画策定からの10年間を第1期実施期間と定め、さらにその10年を5年毎に前期と後期に分けて事業に取り組んでいる。これまでの5年間を第1期前期実施期間として取り組み、その取組内容を振返り、後期5か年の実施計画を策定したところである。今年度は後期計画の初年度となり、後期計画の取組に加え前期5か年の未達成の取組にも取り組んでいくことになる。また、公有財産利活用ガイドラインを策定したことから、本ガイドラインに基づき取組みを定着させる必要がある。</p>		単位	31年度決算	2年度当初予算	2年度決算	3年度当初予算	4年度計画
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	8,849	1,189	775	1,111
	事業費	千円	8,849	1,189	775	1,111	1,111

5. 令和2年度の実績及び成果	
(1) 令和2年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和2年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> 霧島市公共施設マネジメント計画推進本部(庁内委員会): 0回 霧島市公共施設マネジメント計画推進委員会(外部委員会): 0回 地域座談会の開催: 0回 新電力への取組: 56施設 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めるために、急を要しなかったため会等の開催を見送った。 新電力導入による削減効果は、約36%の減であった。

事務事業 番号	01836	事務 事業名	公共施設マネジメント計画進行管理事業	担当部	総務部
				担当課	財産管理課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有 効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効 率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	公共施設マネジメントは、健全な財政運営に取り組むものであり、公共施設の更新問題を先送りすることは、将来世代に多大な負担を残すことになるため、事業を休止することや廃止することはできない。また、最小限の人員や予算で施設所管課との連携を行なっている状況であるため、これ以上の人員や経費は削減することができないが、更なる成果向上のためには、民間活力を活用することで成果向上の期待ができる。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和 3年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	平成27年3月の計画策定からの10年を第1期実施期間と定め、さらにその10年を5年毎に前期と後期に分けて事業に取り組んでいる。これまでの5年を第1期前期実施期間として取り組み、その取組内容を振り返り、後期5カ年の実施計画を策定した。今年度は、後期計画の2年度となり、後期計画の取組みに加え前期5カ年の未達成の取組みにも併せて取り組んでいくことになる。また、新たに公共施設のネーミングライツに取り組んでいく。				
(3) 令和 4年度の方向性 (具体的な取組)	後期5カ年計画の3年度目となるが、単年度のみ取組みだけでなく、中期的視点で取組む必要もあることから、施設管理課と引き続き連携を図り、目標達成に向けた取組みを着実に実施する。また、重点プロジェクトに引き続き取組み、第2期実施計画策定へと繋げていく。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
	維 持		
	縮 小		
	休廃止（統合含む）		
		皆 減	縮 小
			維 持
			拡 大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

